

24
25



 U-NEXT

 Premier
League

REPORT

サッカー試合解説レポート

MATCH

U-NEXT プレミアリーグ ニューカッスルVSサウサンプトン

DATE

2024/8/17

NAME

田中裕介



プレミアリーグ・8/17(土)

試合終了



1 - 0



ニューカッスル

サウサンプトン

ジョエリントン 45'



ファビアン・シェア 28'



サブメンバー



- 11 ハーヴィー・バーンズ ↑
- 17 エミル・クラフト ↑
- 25 ロイド・ケリー ↑
- 1 マルティン・ドゥーブラフカ
- 2 キーラン・トリッピアー
- 13 マット・ターゲット
- 18 ウィリアム・オスラ
- 24 ミゲル・アルミロン
- 28 ジョー・ウィロック

- ↑ キャメロン・アーチャー 19
- ↑ カルロス・アルカラス 22
- ↑ サミュエル・エドジー 23
- ↑ サム・アモ・アメイヨー 27
- ↑ タイラー・ディプリング 33
- ジョー・ラムリー 13
- ジェームズ・ブリー 14
- ネイサン・ウッド 15
- チャーリー・テイラー 21

監督

E. ハウ

R. マーティン



チーム別データ



シュート	19
枠内シュート	4
ボール支配率	78%
パス	649
パス成功率	89%
ファウル	16
イエローカード	4
レッドカード	0
オフサイド	2
コーナーキック	12

MATCH REPORT

SCORE 1-0 (1st 1-0 2nd 0-0)

TOP3 point

- ・ CBシェアの退場により試合が動く
- ・ 前半終了間際の一つのミスが試合を決定づける
- ・ ニューカッスル中盤3枚の運動量が驚異的

(ニューカッスル)

・ 前半はサウサンプトンのビルドアップに守備がハマらず時間が過ぎる。相手3バックに対してのプレスが決まらず、出し手が自由な状態で回されてしまう。ハイプレスをかけた時もミドルサードで相手にうまくいなされてしまい、結果的に自陣に下がりリトリートする形になり、狙いとしていたショートカウンターは発動できず。嫌な流れの中で、小競り合いからCBシェアが一発退場。フォーメーションはイサク、ゴードンを全線に残し7枚でブロックを敷く形で前半を凌ごうとする。そんな中、前半終了間際相手GKのミスを逃さず、イサクの横パスからジョエリントンが冷静にフィニッシュ。10人の中最高の形で前半を折り返す。後半はカウンターを狙う展開。大きな変更はなしで45分を耐え凌ぐ展開。そんな中、中盤の3枚の運動量、気迫、試合運びは特筆すべきものがあった。素晴らしい出来の試合ではなかった中で、無失点で試合をクローズすることに成功。プレミアリーグの意地を見せた試合だった。個人的にはジョエリントンがMVP。得点、守備や球際では非常に戦っていた。

Challenges to the Next

- ・ チーム名・主語を最初にはっきりとさせる
- ・ 思う、ちょっとのワードを減らし自信を持つ
- ・ コメントレスポンスを倍近く速くする

(サウサンプトン)

試合の序盤はとても良い形で入る。昇格してきたチームの形を崩さず自分たちのビルドアップを臆せず披露。3バックの出し手の安定感、MFに入ったアリボーがタイミングよく前線が降りてきて受け手を助ける。右サイドではこの日プレミアデビューとなった菅原も積極的にチャンスに絡む。相手SBホール相手に優位に立ち決定的なクロスも一本上げる。相手退場で畳み掛けたかった所でまさかのミスで失点をしてしまう。GKマッカーシーがCBに繋ごうとしたパスをイサクに引っ掛けられてしまいジョエリントンに沈められてしまう。内容は悪くなかったただけにもったいない失点だった。後半は選手交代をどんどん切り、攻勢に出る。エドジー、アーチャー、アルカラス、アモ=アメイヨーなど特徴のある選手を入れて迫るもののニューカッスルの硬い守備を崩せずそのまま試合終了。プレミアリーグの洗礼を浴びる開幕戦となった。チームの武器であるパスワークが垣間見えたのは収穫。反対にチームとしての課題はスピードアップ。サイドにボールが入った後にスピードアップやポケットを使った深い位置への侵入をさらに増やしたい。